

Course number		U-LAS00 10001 LJ34					
Course title (and course title in English)		哲学Ⅰ Philosophy I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, TODA TAKEFUMI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Philosophy(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Tue.5		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
テーマ：世界について 哲学は、われわれの身の回りにある多くの問題を考えるが、しばしば、その問題を考える際に、われわれがどのようなことを前提にしているのかという、われわれ自身の思考の枠組みを考察しながら、個別の問題に取り組もうとする。そしてその作業はまた、さらにどのような前提がそこにあるのかということの問題にする、というように深く物事を探り続けていかなければならないことが多い。その作業は、結局のところ、われわれが生きている世界をどのようなものとして考えるのかという問題に関わってくる。 そこでこの講義では、地理的でも歴史的でもない観点から、世界というものがどのようなものであるのかという考えを通して、その中でわれわれがどのように考え生きていくべきかについて考えて見る。							
[Course objectives]							
・ある問題を考えるときに、しばしばわれわれが無批判に前提している前提が存在していることを意識し、自分の思考それ自体とより深く向き合うことを学ぶ。 ・哲学者の考えと向き合うことにより、知識を広げるだけでなく、どのようにそれら他者の思考を捉え直すのかということを経験することにより、教養を高める。							
[Course schedule and contents]							
講義ではあるが、学生との対話を通して修正を行うため、大まかなテーマで記す。 1. 導入 2-4. 主観的な世界と客観的な世界 5-6. 関連する哲学史 1 5-7. 他者 8-10. 科学 11-12. 関連する哲学史 2 13-14. 世界について							
Continue to 哲学Ⅰ (2) ↓ ↓ ↓							

哲学Ⅰ(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

期末試験によって判定する。

[Textbooks]

Not used

プリントを配布し、それに即して講義を進める。

[References, etc.]

(References, etc.)

戸田剛文『世界について』（岩波書店）ISBN:978-4005006755

[Study outside of class (preparation and review)]

- ・講義で扱う哲学者に関する最低限の知識（代表的な著作名など）を頭に入れたうえで授業に臨むこと。
- ・復習に際しては、授業内容をたんに反復して覚えるだけではなく、哲学者たちの主張を自分なりに批判的に捉えることにも挑戦してほしい。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]